



# 環境かわら版

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

令和元年7月号 (第278号)

特集1 2018年度公共用水域及び地下水の水質調査結果……………P2

特集2 2018年度大気汚染調査結果…………… P3

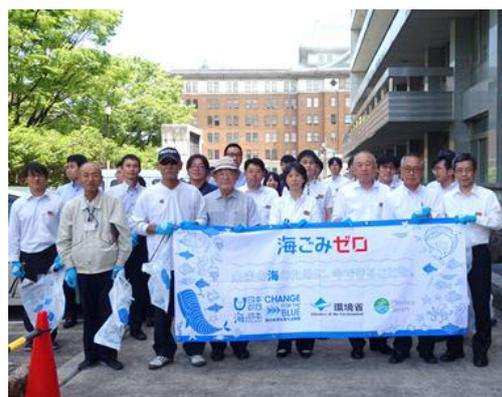
特集3 化学物質の環境への排出量等 (2017年度分)……………P4



環境保全関係功労者表彰式を開催しました (P5)



夏休み環境学習講座を実施します (P6)



海ごみゼロウィーク一斉清掃活動及び  
ごみ散乱防止キャンペーンを開催しました (P8)



エコアクションを  
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



水質汚濁防止法第16条第1項の規定により作成した「2018年度公共用水域及び地下水の水質測定計画」に基づき、愛知県と関係機関（国土交通省、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、春日井市及び豊田市）が行った県内の水質調査結果の概要は次のとおりです。

## 1 公共用水域の水質調査結果

### (1) 健康項目

河川、湖沼、海域の139地点で調査した結果、138地点は全ての項目で環境基準を達成しましたが、1地点で1,2-ジクロロエタンが環境基準を達成しませんでした（2017年度も同地点同項目で非達成）。

### (2) 生活環境項目

河川の有機汚濁の代表的な指標である生物化学的酸素要求量（BOD）、湖沼及び海域の有機汚濁の代表的な指標である化学的酸素要求量（COD）、海域の富栄養化の代表的な指標である全窒素及び全リン、水生生物の保全に係る環境基準項目である全亜鉛、ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）の調査結果について、環境基準の達成率を下表にとりまとめました。

達成率の長期的な推移をみると、河川のBOD、海域の全窒素及び全リンについては改善傾向にあり、海域のCODについては概ね横ばいで、湖沼のCODについては未だ達成していません。

### 【環境基準（生活環境項目）の達成水域数及び達成率】

調査項目	類型指定 水域数	環境基準 達成水域数*3	
		達成率*3	達成率*3
河川	BOD	49*1	48(48) 98%(98%)
	水生生物保全 環境基準	全亜鉛	37(37) 88%(88%)
		ノニルフェノール	42(42) 100%(100%)
		LAS	41(42) 98%(100%)
湖沼	COD	1	0(0) 0%(0%)
	水生生物保全 環境基準	全亜鉛	1(1) 100%(100%)
		ノニルフェノール	1(1) 100%(100%)
		LAS	1(1) 100%(100%)
海域	COD	11*2	6(5) 55%(45%)
	全窒素	6*2	5(5) 83%(83%)
	全リン		6(5) 100%(83%)
	水生生物保全 環境基準	全亜鉛	4(4) 100%(100%)
		ノニルフェノール	4(4) 100%(100%)
		LAS	4(4) 100%(100%)

\*1 調査項目により数は異なりますが、対象河川は同一です。

\*2 COD、全窒素及び全リンについては三河湾を含む伊勢湾で、水生生物保全環境基準については三河湾を除く伊勢湾です。

\*3 ( )内は2017年度の状況です。

## 2 地下水の水質調査結果

### (1) 概況調査

県内の全体的な地下水質の概況を把握するため、メッシュ調査93地点、定点調査19地点の計112地点で調査した結果、メッシュ調査5地点、定点調査2地点の計7地点で環境基準を超過した項目がありました。そのうち新たに環境基準の超過が判明したメッシュ調査の4地点については、汚染井戸周辺地区調査を行うとともに井戸所有者に対する飲用指導を実施しました。

2017年度は112地点で調査を実施、7地点で環境基準を超過しており、2018年度の調査地点数に対する超過地点数の割合は2017年度と同様6.3%でした。

### (2) 定期モニタリング（継続監視）調査

過去の概況調査、事業者からの報告等で地下水汚染が判明した地域の継続的な監視を行うため、165地点288本の井戸で調査を実施しました。その結果、93地点119本で環境基準を超過しました。

### (3) 汚染井戸周辺地区調査

概況調査、事業者からの報告等により地下水汚染のおそれがあると判断した19地点64本の井戸で、汚染範囲等の確認調査を行った結果、3地点10本で環境基準を超過しました。

### 【環境基準の超過地点数】

調査区分	調査地点数	環境基準 超過地点数
概況調査	メッシュ調査	93(93)
	定点調査	19(19)
定期モニタリング調査	165(288)	93(119)
汚染井戸周辺地区調査	19(64)	3(10)

\* ( )内は井戸の本数を示す。

## 3 今後の対応

引き続き常時監視を行い、環境基準の達成状況を把握するとともに、水質汚濁防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例等に基づき、事業者指導、生活排水対策等を総合的に推進し、環境基準の達成・維持に努めていきます。

水大気環境課 調整・計画グループ  
電話 052-954-6221 (ダイヤルイン)  
水・土壌規制グループ  
電話 052-954-6225 (ダイヤルイン)

大気汚染防止法第22条に基づき、愛知県は、名古屋市、豊橋市、岡崎市及び豊田市とともに、二酸化硫黄等の大気汚染状況の常時監視及びベンゼン等の有害大気汚染物質のモニタリングを行っています。

2018年度の調査結果の概要は次のとおりです。

## 1 大気汚染常時監視結果

愛知県内の測定局は86局（2019年3月末現在）で、大気汚染物質を測定しています。

二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素及び浮遊粒子状物質については、前年度と同様に全ての測定局で環境基準を達成しました。微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）は、55局中54局で達成しました。光化学オキシダントは、前年度と同様に全ての測定局で環境基準を達成しませんでした。

### 環境基準の達成状況

項目	二酸化硫黄		二酸化窒素	
	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	21	3	61	22
達成測定局数	21	3	61	22
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%

項目	一酸化炭素		浮遊粒子状物質	
	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	2	7	63	22
達成測定局数	2	7	63	22
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%

項目	光化学オキシダント		微小粒子状物質	
	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	64	10	40	15
達成測定局数	0	0	39	15
環境基準達成率	0%	0%	98%	100%

(注1) 一般局は一般環境大気測定局のことで、自排局は自動車排出ガス測定局のことです。

(注2) 環境基準達成率は、「(達成測定局数/有効測定局数) × 100 (%)」で示しています。

## 2 有害大気汚染物質等モニタリング調査結果

環境基準等が定められているベンゼンなど13物質については、前年度と同様に全ての測定地点で環境基準等を達成しました。

### (1) 環境基準が定められている4物質

対象物質	測定地点数	達成地点数	環境基準達成率
ベンゼン	19	19	100%
トリクロロエチレン	18	18	100%
テトラクロロエチレン	18	18	100%
ジクロロメタン	18	18	100%

### (2) 指針値が定められている9物質

対象物質	測定地点数	達成地点数	指針値達成率
アクリロニトリル	18	18	100%
塩化ビニルモノマー	18	18	100%
水銀及びその化合物	15	15	100%
ニッケル化合物	15	15	100%
クロロホルム	18	18	100%
1,2-ジクロロエタン	18	18	100%
1,3-ブタジエン	19	19	100%
ヒ素及びその化合物	15	15	100%
マンガン及びその化合物	15	15	100%

## 3 今後の対応

引き続き常時監視やモニタリングを行い、環境基準等の達成状況を把握するとともに、大気汚染防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例、自動車NO<sub>x</sub>・PM法、愛知県NO<sub>x</sub>・PM総合対策推進要綱、あいち自動車環境戦略2020等に基づき、工場、事業場などに対する固定発生源対策や自動車環境対策等の各種大気汚染防止対策を総合的に推進し、環境基準等の達成・維持に努めていきます。

〔 水大気環境課 大気調査グループ  
電話 052-954-6216 (ダイヤルイン) 〕

# 「化学物質の環境への排出量等」(2017年度分)についてお知らせします



特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律及び県民の生活環境の保全等に関する条例に基づく、事業者からの届出と国の推計結果から、2017年度の愛知県内における化学物質の環境への排出量等について取りまとめました。その概要は、次のとおりです。

- 2017年度の県内排出量等を2016年度と比較すると、届出排出量、届出取扱量、全排出量はそれぞれ2.5%、0.5%、1.8%減少しました。

## 県内排出量等 (2017年度と2016年度との比較)

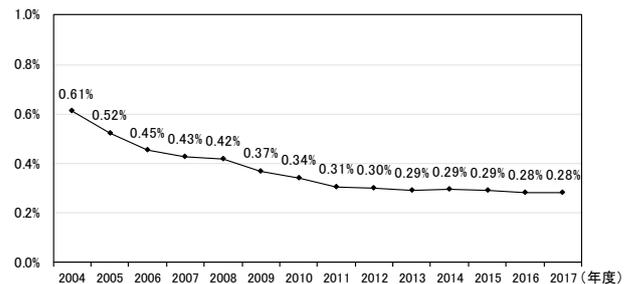
	届出事業所数	届出排出量 (トン/年)	届出取扱量 (トン/年)	全排出量 (トン/年)
2017年度	1,970 件	10,406	3,731,325	23,446
2016年度	2,024 件	10,678	3,749,390	23,879
増減	△ 54 件	△ 2.5%	△ 0.5%	△ 1.8%

届出排出量: 事業者が自ら把握した、環境中に排出された化学物質の量

届出取扱量: 事業者が自ら把握した、化学物質を製造又は使用した量

全排出量: 大気、公共用水域等の環境中に排出された化学物質の総量

- 2017年度の全排出量について、集計を開始した2001年度と比較すると、64.6%減少しました。
- 化学物質を製造・使用する際に環境中に排出される割合について、届出取扱量の集計を開始した2004年度以降の経年変化を見ると、0.61%が0.28%に低下したことから、事業者の排出抑制の取組が進んでいるものと考えられます。



割合 (届出取扱量に対する届出排出量) の経年変化

〔環境活動推進課 環境リスク対策グループ  
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)〕



## まなびや もりの学舎夏の特別イベントを実施します!



愛知県では、愛・地球博記念公園内の「もりの学舎」で、夏の特別イベントとして、親子で参加できる工作教室を開催します。参加費は無料です。多くの方のご参加をお待ちしております。

### 1 開催日時

8月3日(土)、8月4日(日)

①ちびっこクラフト 10:30~11:50

②おやこクラフト 13:30~15:30

### 2 対象、募集人数及び内容

① 幼児(3~6歳)とその保護者 各日20名程度  
(保護者1名につき幼児2名まで)

森の生きものを見つけて、木の枝などを使った生きものクラフトを作ります。

② 小学生とその保護者 各日20名程度  
(保護者1名につき小学生2名まで)

火起こし道具作りと火起こし体験を行います。



ちびっこクラフトイメージ



おやこクラフトイメージ

### 3 申込期限

7月25日(木)まで(先着順)

### 4 申込・問合せ先

もりの学舎

電話:0561-61-2315 FAX:0561-61-2328

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/>

kankyokatsudo/r1summer-craft.html)

〔環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)〕

# 環境保全関係功労者表彰式を開催しました



愛知県では、県民の皆さんに環境保全に対する意識を高めていただき、快適な生活環境を保つことを目的として、県内の環境の保全に関し顕著な功績のあった団体・個人に対して、毎年度、知事による表彰を行い、その功績をたたえています。

本年度は、3 団体及び 23 名の受賞者を決定し、6 月 7 日に県庁本庁舎正庁で表彰式を行いました。

受賞者は大村知事から県産間伐材製の表彰状等を受け取り、知事や来賓の神野博史県議会議長から、お祝いの言葉が贈られました。



逢妻女川を考える会

主な活動：流域の草刈・清掃活動・水質調査のほか、環境教育の実施などの環境保全活動



NPO 法人祖父江のホテルを守る会

主な活動：地域在来のヘイケボタルの保護事業や生息状況調査などの環境保全活動

## 表彰の区分と受賞者一覧（敬称略） 3 団体・23 名

<b>環境保全活動功労</b>	<b>(3 団体)</b>
長年にわたり環境保全活動の推進に尽力	
○逢妻女川を考える会（豊田市）	
○NPO 法人祖父江のホテルを守る会（稲沢市）	
○岡崎市立形埜小学校（岡崎市）	
<b>環境保全推進功労</b>	<b>(19 名)</b>
長年にわたり愛知県の環境保全行政の推進に寄与	
<b>愛知環境賞選考委員会委員長</b>	<b>(1 名)</b>
○架谷 昌信（名古屋市守山区）	
<b>愛知県公害健康被害認定審査会等委員</b>	<b>(5 名)</b>
○小嶋 真一郎（東海市）	
○谷脇 弘茂（豊明市）	
○成田 務（名古屋市中川区）	
○成瀬 一郎（名古屋市千種区）	
○山田 佳廣（三重県鈴鹿市）	
<b>地球温暖化防止活動推進員</b>	<b>(7 名)</b>
○岩渕 準（長久手市）	
○河合 志郎（豊田市）	
○黒野 清隆（西尾市）	
○田中 克典（津島市）	
○永井 安広（東海市）	
○三ツ井 好夫（名古屋市緑区）	
○渡邊 芳美（春日井市）	
<b>鳥獣保護管理員</b>	<b>(1 名)</b>
○吉田 賢治（刈谷市）	
<b>地域環境保全委員</b>	<b>(5 名)</b>
○梶田 美登里（春日井市）	
○小沢 通男（小牧市）	
○富田 雅巳（春日井市）	
○平野 和美（海部郡飛島村）	
○望月 恒徳（春日井市）	
<b>環境保全行政従事功労</b>	<b>(3 名)</b>
長年にわたり環境保全行政に従事	
○伊藤 友浩（豊川市）	
○荻原 一彦（北設広域事務組合）	
○杉浦 宏育（豊橋市）	
<b>環境衛生事業功労</b>	<b>(1 名)</b>
長年にわたり環境衛生事業の推進に尽力	
○柴田 金作（愛知県環境測定分析協会）	

環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）

# 夏休み環境学習講座を実施します



愛知県では、生きものに触れたり、自然素材を利用した工作をしたりして、体験しながら環境について楽しく知ることができる「夏休み環境学習講座」を開催します。

一部の講座を除き参加費は無料で、応募者多数の場合は抽選とします。

夏休みの自由研究にぴったりですので、多くの方のご参加をお待ちしております。

## 1 日程等

### (1) あいち環境学習プラザ（名古屋市中区）で開催

日時	講座名(講師)
<b>7月29日(月)</b> 10:00~12:00	飛ばしてみよう むささびグライダー！ (講師：あいち海上の森センター 酒井 雅章)
<b>8月5日(月)</b> 10:00~12:00 13:30~15:30	ミミズコンポストをつくろう！ ～ミミズのヒミツを発見～ (講師：祖父江 鈴子)
<b>8月6日(火)</b> 10:00~12:00	ネイチャーテクノロジーを学ぼう！～暮らしに役立つ生物の技～ (講師：技術士会 加藤 信夫)
<b>8月7日(水)</b> 10:00~12:00 13:30~15:30	五感セラピー ～草木パワーでルームスプレー作り～ (講師：祖父江 鈴子)
<b>8月8日(木)</b> 10:00~12:00	地球温暖化シリーズ① ～二酸化炭素をはかろう～ (講師：新谷 良英)
<b>8月8日(木)</b> 13:30~15:30	スズメバチの巣を分解しよう！～危険な生き物たち～ (講師：(公社)愛知県ASTコントロール協会 森 重樹)
<b>8月15日(木)</b> 10:00~12:00 13:30~15:30	いきもの博士になろうシリーズ③ ～淡水生物編～ (講師：宮田 賢輔)
<b>8月19日(月)</b> 10:00~12:00	地球温暖化シリーズ② ～ソーラーカーを作ろう～ (講師：則竹 昌幸)
<b>8月23日(金)</b> 10:00~12:00	地球温暖化シリーズ③ ～発電実験をしよう～ (講師：浜島 鐘利)
<b>8月26日(月)</b> 10:00~12:00 13:30~15:30	いきもの博士になろうシリーズ④ ～海の生物編～ (講師：宮田 賢輔)

### (2) もりの学舎<sup>まなびや</sup>(長久手市 愛・地球博記念公園内)で開催

日時	講座名(講師)
<b>7月30日(火)</b> 10:00~12:00 13:30~15:30	チョウの標本をつくろう！ (講師：高橋 匡司)
<b>7月31日(水)</b> 10:00~12:00 13:30~15:30	いきもの博士になろうシリーズ① ～カフト・クワガタ編～ (講師：宮田 賢輔)
<b>8月1日(木)</b> 13:30~15:30	トンボの標本をつくろう！ (講師：高橋 匡司)
<b>8月2日(金)</b> 10:00~12:00	葉っぱ図鑑をつくろう！ (講師：宮脇 稔)
<b>8月9日(金)</b> 10:00~12:00 13:30~15:30	森の万華鏡をつくろう！ (講師：勢力 愛子)
<b>8月14日(水)</b> 10:00~12:00 13:30~15:30	いきもの博士になろうシリーズ② ～肉食昆虫編～ (講師：宮田 賢輔)

※講座は、天候などにより内容変更や中止になることがあります。  
※地球温暖化シリーズの3講座は、小学3年生以上限定です。

## 2 対象及び定員

小学生以上（一部の講座は小学3年生以上）

※原則、小学生は保護者同伴

定員 各回 20名

## 3 申込方法

以下の①～④の内容を記載して、郵送、FAX、Eメールのいずれかにより、お申し込みください。申込用紙は県のWebページからもダウンロードできます（以下のURL、もしくは「愛知 夏休み環境学習講座」で検索！）。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/rlnatuyasumi.html>)

①希望の講座名 ②希望の日時

③代表者の氏名（フリガナ）、年齢、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス

④参加者全員の氏名（フリガナ）・年齢（小・中学生の方は学年）

## 4 申込期限

7月16日（火）まで

申込多数の場合は抽選により選考します。

## 5 申込・問合せ先

あいち環境学習プラザ

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号

電話：052-972-9011 FAX：052-972-9013

Eメール：kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp

## 6 その他

この講座は<sup>あえる</sup>AELネット環境学習スタンプラリー対象です。(http://aichi-eco.com/ael\_stamprally)



ネイチャーテクノロジーを学ぼう！  
(過去の講座の様子)



スズメバチの巣を分解しよう！  
(過去の講座の様子)

環境活動推進課 環境学習グループ  
あいち環境学習プラザ  
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

## 「あいちクールシェア2019」を実施します



愛知県では、夏季の電力使用量ピークの時間帯に家庭の冷房を使用する代わりに、公共施設や商業施設の「シェアスポット」に出かけて涼を分かち合う「あいちクールシェア2019」を昨年度に引き続き実施します。

シェアスポットに出かけて、応募いただいた方の中から、抽選で賞品を差し上げます。

### 1 実施期間

7月1日(月)から9月30日(月)まで

### 2 参加方法及び賞品応募方法

ご家庭の冷房を使用する代わりに、シェアスポットへお出かけください。

シェアスポットで配布しているチラシに必要事項をご記入の上、郵送又はFAXによりあいちクールシェア事務局へお送りください。県のWebページからもご応募いただけます。

### 3 賞品

- A賞：スマートウォッチ（ファーウェイ）…10名
- B賞：ソーラーチャージャー（RAVPower）…20名
- C賞：洗濯洗剤（花王）…35名
- D賞：カフェカレ※（ハウス食品）  
スティックコーヒー（味の素 AGF）…35名  
※カレー調味料

### 4 シェアスポット

図書館、ショッピングセンターなど  
詳細はWeb ページをご覧ください。

[あいちクールシェア2019](https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/) 検索

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/coolshare.html>)



「あいちクールシェア」のロゴ

地球温暖化対策課 調整・企画グループ  
電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)

## 自動車エコ事業所を募集します



愛知県では、エコカーの導入や公共交通機関の利用促進などの取組を積極的に実践し、「安心・快適な暮らしを支え、環境と自動車利用が調和した社会」の実現に大きく貢献している事業所を「自動車エコ事業所」として認定しています。

認定事業所には、認定証や表示板を交付するとともに、県のWeb ページに掲載し、環境に配慮した事業所として広く紹介しますので、積極的にご応募ください。

### 1 対象

愛知県内の事業所（個人事業者を含む。）

### 2 認定方法

応募事業所のエコカーの導入や公共交通機関の利用促進等の取組状況について、あいち自動車環境戦略会議で審査し、認定基準を満たしている場合に同会議議長（愛知県知事）が認定します。

### 3 募集期間

7月1日(月)から9月30日(月)まで

### 4 応募方法

所定の申請書（下記 URL からダウンロード可）及び取組内容を証する書類を、持参又は郵送によりご提出ください。

詳細はWeb ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/2019eco.jigyousyo.html>)

### 5 その他

「自動車エコ事業所」の認定を受けると、社会的価値の実現に資する取組として、愛知県が行う公契約の一部において加点される場合があります。

地球温暖化対策課 自動車環境グループ  
電話 052-954-6217 (ダイヤルイン)

## 油ヶ淵浄化デーの一斉清掃活動にご参加ください！



油ヶ淵は、碧南市と安城市に広がる愛知県唯一の天然湖沼です。

油ヶ淵周辺の碧南市、安城市、西尾市及び高浜市の4市は、水質浄化に向けた地域の気運を盛り上げるため、毎年7月第4日曜日の「油ヶ淵浄化デー」に合わせて、油ヶ淵や流入する河川周辺の一斉清掃活動を実施しています。

昨年度は、4市合計で4,239名もの方々にご参加いただき、1,020kgのごみを回収しました。

今年度は、西尾市は7月21日（日）、その他3市は7月28日（日）に実施します。

また、市の清掃活動実施日には、この清掃活動等を通じて、永年にわたり地域の水環境保全に貢献された団体等に対して、油ヶ淵水質浄化促進協議会（構成：愛知県、油ヶ淵周辺4市）から感謝状を贈呈します。

今年度も多くの皆様のご参加をお待ちしています。詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2019jyoukaday.html>)



昨年度の清掃活動の様子（西尾市）



昨年度の感謝状贈呈の様子（碧南市）

水大気環境課生活環境地盤対策室 三河湾環境再生グループ  
電話 052-954-6220（ダイヤルイン）

## ごみ散乱防止啓発・清掃活動及び海ごみゼロウィーク一斉清掃活動を実施しました



愛知県は、毎年5月30日（ごみゼロの日）から6月5日（環境の日）までの1週間を「ごみ散乱防止強調週間」として、ごみの散乱防止を呼び掛ける啓発活動や清掃活動などを実施しています。

また、環境省と（公財）日本財団は、今年度から海洋ごみ対策に向けた共同事業の一つとして、5月30日から6月8日（世界海洋デー）前後の期間を「海ごみゼロウィーク」と定め、全国一斉清掃活動への参加呼び掛けを始めました。

本県では、この二つの事業の取組として、街頭啓発活動や、海岸・庁舎周辺の清掃活動を行いました。

### <街頭啓発活動>

金山総合駅ほか県内主要駅8箇所において、（公社）食品容器環境美化協会愛知地方連絡会議と協力して啓発資材を配布し、海ごみの原因ともなるごみのポイ捨ての防止等と呼びかけました。

### <清掃活動>

蒲郡市が実施する春のクリーンキャンペーン統一実践活動と連携し、竹島・竹島園地の海岸清掃を実施しました。また、常滑市で行なわれた海岸清掃にも協力しました。

さらに、5月30日の昼休みに、県庁舎周辺において県職員等約160名の参加のもと清掃活動を実施し、約1,140リットルのごみを収集しました。



県庁舎周辺の清掃活動の様子

資源循環推進課 一般廃棄物グループ  
電話 052-954-6234（ダイヤルイン）

## 1 7月の天候の見通し

今年の7月は、本州付近への太平洋高気圧の張り出しが弱く、梅雨前線や湿った空気の影響を受けやすいため、降水量は平年並みか多くなる見込みです。

一方で、地球温暖化の影響等により大気全体の温度が高くなっているため、気温はほぼ平年並みとなりそうです(図1)。

## 2 あぶらぜみの初鳴日の変動

気象庁は、季節の遅れ進みや、気候の違いなど総合的な気象状況の推移を把握するため、生物季節観測として植物や動物の様子を観測しています。

その中の1つに「あぶらぜみの初鳴日」があり、盛夏の目安とされています。名古屋市では、年ごとに大きく変動しているものの、長期的に見た場合、記録が残っている1953年頃と比較すると約7日も早まっています(図2)。

## 3 7月における熱帯夜と暑熱対策

夜間の最低気温が25℃以上の場合を、一般的に「熱帯夜」と呼びます。1924年以降の7月における熱帯夜となった日数の経年変化を図3に示します。

2000年代から10日を超える年が増え、去年は過去最高の22日を記録しました。今年の7月の気温は「ほぼ平年並み」の予想であることから、今年も寝苦しい熱帯夜が何日もあると推測されます。

そこで考えられる対策として、エアコンの有効な活用方法をご紹介します。

環境省によるヒートアイランド対策の報告書(2009年)によれば、正常な睡眠過程が進行するには、室温26℃程度、湿度50~60%が望ましいとされています。

しかし、睡眠が進むと発汗による体温低下が起るため、エアコンを使い続けると、体が冷えすぎて睡眠が阻害される可能性があります。このため、睡眠モード等の自動運転機能を使い、睡眠環境を快適に保つようにしましょう。

また、エアコンの効率的な使い方としては、部屋が冷えるまでは強風で、その後は微風に切り替える

方法がお勧めです。エアコンは室温を下げる時の消費電力が大きいので、微風や弱風で徐々に室温を下げると時間がかかってしまい非効率的になります。

これから梅雨が明けると本格的な暑さが到来しますので、熱中症に気をつけましょう。

## 4 待機電力の節電による緩和策

7月や8月に入ると、夏季休業等の長期休暇があります。職場のパソコン等の電気製品のコンセントを抜くことで、待機電力の節電になります。

CO<sub>2</sub>排出量の抑制(緩和策)になるとともに、電気代の節約にも繋がりますので、身近にできる省エネ活動に取り組んでいきましょう。

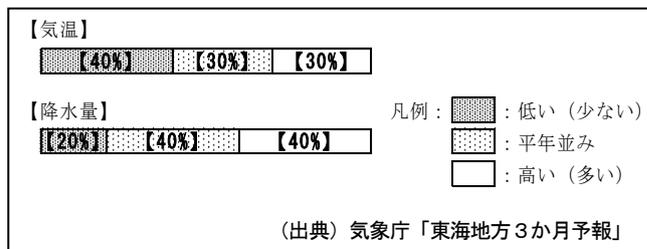


図1 7月の気温・降水量の各階級の確率

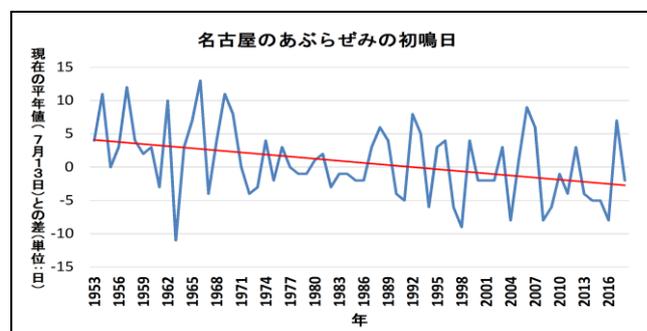


図2 名古屋市におけるあぶらぜみの初鳴日の推移

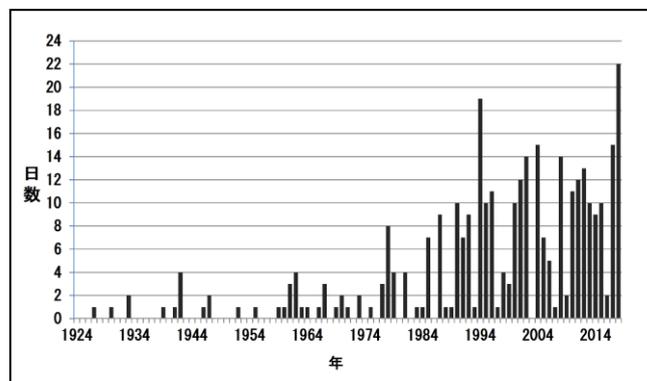


図3 7月における熱帯夜となった日数

環境調査センター 企画情報部  
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

# 「あいちの未来クリエイト部」が 作成した教材を紹介します(2)



高校生が専門家等の支援を受けながら、環境問題について調査・研究を行い、その結果を基に環境学習教材を作成する「あいちの未来クリエイト部」の活動が2017年度から行われています。6月号から3回にわたり、昨年度参加した3グループが作成した教材を紹介しています。

2回目となる今回は、「愛知県立豊橋東高等学校 <sup>グループ</sup> GLOBE」の皆さんが作成した教材です。



GEO (ジオ) カード

「GEO (ジオ) カード」とは、東三河がジオパークになることを応援し、多くの方に東三河の自然を知ってもらうために作成されたカードゲームです。このゲームは、ジオパークとは何かを紹介する紙芝居を見てから始めます。場札と同じ写真または色のカードを手札から1枚ずつ出し、出すカードがなければカードの山から1枚引いて、出せる場合は出します。特別な能力を持つカードも使用でき、手札が残り

1枚となったら、「GEO (ジオ) !」と言います。手札のカードがなくなった人から勝ちとなります。

東三河の美しい自然の写真とその説明が書かれたカードでゲームをすることで、楽しみながら東三河の自然の魅力を学ぶことができます。ゲームを通して、人々が地域の良さを再確認し、地域の生き物や生態系の保護への意識も高まり、東三河の持続的な発展・活性化につながります。



教材で遊ぶ様子

あいちの未来クリエイト部では他にも様々な教材が作成され、全て貸出しを行っていますので、是非ご利用ください。詳細はWeb ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/program.html>)

環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

愛知県環境情報紙「環境かわら版」  
令和元年7月1日発行(第278号)  
編集・発行 愛知県環境調査センター  
企画情報部  
〒462-0032 名古屋市中区辻町字流 7-6  
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

### 編集後記

今年も庭に植えたゴーヤが成長してきました。最近では、ご家庭でも緑のカーテンをされているところをよく見かけるようになりましたね。緑のカーテンは日差しを遮り、暑い夏に涼感をもたらしてくれます。さらに、省エネ、節電にも貢献できます。最近では、アサガオ、ゴーヤの他にも、パッションフルーツ等も増えてきているとか。暑い夏を迎えるにあたって、試してみたいかがでしょうか。  
(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境局 Web ページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。